

浜松医科大学

技術部年報

2022

Annual Report 2022

目次

2022年度技術部活動報告	2
1. 技術部としての1年間の活動	2
2. 技術部 技術発表・研修報告会要旨	4
日本顕微鏡学会による電子顕微鏡解析技術向上への取り組みについて	4
ラマン分光法を用いた材料識別測定	4
技術研究発表	4
脳神経外科CST献体における【脳組織の硬さ】の改良と【血管色素注入】への挑戦	4
現在まで習得した技術	5
文科省発「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」から見た技術職員の展望	5
3. 技術職員定年記念講演	7
4. 技術部学外研修および出張報告	8
2022年度 技術職員実績	16
1. 取得資格および研修・講習	16
2. 学会・研究会等	17
3. 学内・社会・地域貢献事業	19
4. 論文・著書等	20
5. 科研費、補助金等獲得	21
6. 賞典	21
7. その他	22
技術部組織・体制	23

2022年度技術部活動報告

1. 技術部として1年間の活動

1) 技術部会 (3回)

- 6月8日 令和4年度活動計画、部長・副部長挨拶、グループ担当業務
- 1月24日 技術カタログ、活動実績収集、技術職員合同研修に係る代表者会議の報告
- 3月24日 令和4年度事業報告、会計報告、令和5年度事業計

2) 技術部セミナー (3回)

- 11月10日 「透過型電子顕微鏡入門」オンラインWEB開催
- 12月9日 「静岡大学の技術部組織化の現状と未来」講義実習等特別講義室
- 3月24日 「学内技術報告会・研究会(6月6日に延期)」看護学科棟3階大講義室3

3) グループ長会議 (12回)

- | | | |
|--------|-------------|--------------|
| 4月14日 | 第1回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 5月13日 | 第2回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 6月16日 | 第3回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 7月14日 | 第4回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 8月18日 | 第5回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 9月8日 | 第6回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 10月20日 | 第7回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 11月17日 | 第8回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 12月8日 | 第9回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 1月12日 | 第10回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 2月9日 | 第11回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |
| 3月13日 | 第12回グループ長会議 | 医工連携拠点棟101号室 |

4) 画像機器と画像解析の基礎セミナー (8回)

6月28日 光学顕微鏡の基本構造と様々な画像解析技術の概要

8月1日 位相差顕微鏡観察のしくみとImageJを用いた画像合成・背景除去・形態計測について

8月23日 微分干渉顕微鏡 (DIC) 観察のしくみと生体組織の免疫染色の基礎技術・研究法について

10月5日 蛍光顕微鏡を使った観察法の基本とImageJを用いた顕微鏡画像のコントラスト調節・ノイズ除去方法について

11月1日 共焦点レーザー顕微鏡の構造・観察法と蛍光染色試料作製法について

1月27日 透過型電子顕微鏡の構造・観察法とImageJを用いた試料像の形態解析・粒子解析

2月28日 走査型電子顕微鏡のしくみ・観察法と試料作製の基礎

3月30日 様々な生体組織の透過型電子顕微鏡試料の作製法とImageJを用いた電子顕微鏡画像のノイズ除去処理

5) 意見交換会 (6回)

5月11日 基礎臨床研究棟1F 多目的スペース

6月6日 基礎臨床研究棟1F 多目的スペース

7月7日 基礎臨床研究棟2F 230 コミュニケーションスペース

9月7日 基礎臨床研究棟2F 230 コミュニケーションスペース

11月15日 基礎臨床研究棟1F 多目的スペース

2月7日 基礎臨床研究棟1F 多目的スペース

6) 医のプロムナードにおけるポスター掲示 (7月より約1年間)

7) 定年記念講演

3月24日 「感謝の気持ちで迎えた定年」 外山美奈 技術専門員

2. 2022年度 技術部技術発表・研修報告会（要旨）

2023年6月6日(2022年3月24日より延期)15:30～16:30 看護学科棟3階大講義室

研修報告（15：30～15：50）

「日本顕微鏡学会による電子顕微鏡解析技術向上への取り組みについて」

高橋 佳子 機器利用支援グループ（超微形態解析）

日本顕微鏡学会ソフトマテリアル分科会の講演会に参加した内容について報告する。
本分科会において 2022 年度第 2 回目となる講演会で、2 月 17 日から 18 日にかけて静岡県三島市の東レ総合研修センターにて合宿形式で開催された。

「ソフトマテリアルの顕微鏡解析で AI をどう活用できるか」をテーマに、この分野の研究者・技術者による講演と AI 初級実習が行われた他、ソフトマテリアルの電子顕微鏡解析技術に関する相談コーナーもあった。

「ラマン分光法を用いた材料識別測定」

近藤 未菜子 機器利用支援グループ（生体分子解析）

2022年9月に自然科学研究機構分子科学研究所で開催された令和 4 年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修（物理・化学コース）B コースに参加した。この研修ではレーザー光を照射した際に発生するラマン散乱光を検出・分光することにより、物質の結晶状態に関する情報が得られる顕微ラマン分光装置を用いて、材料識別実験を体験した。実験結果のまとめ、研修に参加した感想を発表する。

技術研究発表（15：50～16：30）

「脳神経外科 CST 献体における【脳組織の硬さ】の改良と【血管色素注入】への挑戦」

相羽 民人 教育研究支援グループ（細胞分子解剖学講座）

R1 年度 11 月から始まった Thiel 固定献体を使用した CST が 3 月上旬で 4 期目を終えた。脳神経外科 CST はホルマリン固定献体の不足で R1 年度は中止になり、R2 年度の 2 期目から Thiel 固定献体の脳で新たに始まった。R2 年度 2 月の脳外 CST で Thiel 固定献体を初めて提供したところ、経時的に組織が崩れてとろけ出す状態になり研修に支障が出てしまった。R2 年度の献体提供の大失敗直後から『崩れ・とろけ』対策として【脳組織の硬さ】改善の検討を開始し、翌月 3 月から脳組織へのホルマリンの追加注入を始めた。

R4 年度からは注入方法のさらなる改良を試みている。また、昨年 12 月より脳血管への赤・青の【血管色素注入】にも挑戦中である。それらの途中経過を報告したい。

「現在まで習得した技術」

宮崎 了輔 教育研究支援グループ（腫瘍病理学講座）

これまでどのようなことを学んだのかを紹介する。前職は現職と重複する業務が多いので、現在の業務内容である標本作製を紹介する。患者から採取された検体はホルマリン固定、切り出し、パラフィン浸透、包埋、薄切、染色の順で行われる。病理解剖も行う。研究は修士課程で習得した技術面を紹介する。また、入職以降に新たに学んだ資格と技術を紹介する。今後こうした技術を生かし、研究や技術発表会など活動し、貢献したいと考えている。

「文科省発「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」から見た技術職員の展望」

佐々木 健 教育研究支援グループ（器官組織解剖学講座）

今から約 1 年前の令和 4 年 3 月に「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」が文部科学省により策定・公表された。この中で、技術職員は「共用に関わる人材」であり「研究者のパートナー」と位置付けされ、「技術職員組織を一元化」し、「共用の統括部局の一員として機能」して、さらには「機関の経営戦略の策定にも参画」するなど、「技術職員の活躍の場を広げる」ことが求められている。一方で、「技術職員の貢献度を可視化すること」なども

望まれ、これら一連の取り組みによる技術職員の処遇改善も本ガイドラインには盛り込まれている。本発表では、発表者がここ数年、文科省や内閣府から得た情報とともに、この共用化ガイドラインの基での技術職員の将来的な展望について考える。

3. 2022年度 技術部 技術職員定年記念講演

2023年3月24日16:30～17:30 看護学科棟3階大講義室

「感謝の気持ちで迎えた定年」

外山 美奈 技術専門員 教育研究支援グループ（総合人間科学講座）

昭和60(1985)年4月に医学部一般教育（現：総合人間科学）に採用され、38年間勤務させていただいた。担当は化学と生物学である。化学は初代の藤本大三郎先生、生物学も初代の西村顕治先生の頃からお世話になっており、気がつけば総合人間科学講座でいちばんの古株である。

私のメインの仕事は後期の医学科1年生の学生実習である。以前は後期の10月から生物学実習が始まり、次の物理実習、化学実習と2月まで携わっていた。生物学実習のカエルの解剖に関しては長年携わっているのも、内臓系はもちろん、骨格系や筋肉系まで熟知し、指導の際いちばん活躍した。ヒトの骨とか筋肉の名前を聞いた時、カエルならここだとか思ってしまう。

実習以外の時は先生方の研究支援をおこなっているが、歴代の先生方の研究内容に合わせて様々な技術を習得し、研究支援業務をおこなってきたので、特にこれが専門ということはない。しかし針山先生の時代に視物質発色団のHPLC分析を任せられ、これに関連して研究テーマも与えていただき、また研究費取得の方法など様々なことも学ばせていただいて、実験動物の採集に行ったり、学会発表させていただいたり、いろいろと貴重な経験をさせていただいた。

振り返ってみれば、なかなか楽しい技術職員ライフだったと思う。私には全くなんの才能も実力もないので、それゆえにただひたすらコツコツやることを実践したつもりだが、それがよかったのかなと思う。「1%の才能と99%の継続、努力し続けることで今の自分がある」と安室ちゃんが言っていたが、この言葉がいちばん私には合っていると思っている。まだまだ努力は足りなかったとは思うが。

また私の場合、家庭でも、職場でも本当に周りのみんなに大変助けられたと感じている。

改めまして長年にわたり恵まれた環境で勤め上げられたことを皆様に感謝いたします。



4. 技術部学外研修および出張報告

技術英語研修1（スピーキング） 2022年5月17日 大学連携研究設備ネットワーク（オンライン開催） 高橋佳子

琉球大学コアファシリティ構築支援プログラムシンポジウム 2022年7月29日 琉球大学（オンライン開催） 佐々木 健

東海・北陸国立大学法人等技術職員合同研修（物理・化学コース） 2022年9月8～9日
自然科学研究機構 分子研（岡崎市） 近藤未菜子

東海・北陸国立大学法人等技術職員合同研修（情報コース） 2022年10月13～14日 北陸先端
科学技術大学院大学（能美市） 相羽民人, 村松 歩

琉球大学コアファシリティ構築支援プログラムシンポジウム 2022年12月2日 琉球大学（オンライン開催） 佐々木 健

東海北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係わる技術職員代表者会議 2022年12月27
日 自然科学研究機構 分子研（岡崎市・オンライン併催） 佐々木 健, 外山美奈, 足立直樹, 熊切
葉子

研究基盤EXPO 2022年12月27日 研究基盤イノベーション分科会イノベーション学会（オンライン開催） 佐々木 健, 外山美奈, 足立直樹, 熊切葉子, 堀口 涼, 宮崎了輔

高エネルギー加速器研究機構技術職員シンポジウム 2023年1月19～20日 高エネルギー加速
器研究機構（つくば市・オンライン併催） 佐々木 健, 宮崎了輔

第33回生物学技術研究会 2023年2月16～17日 自然科学研究機構（オンライン開催） 佐々木
健(発表), 村松 歩(発表), 外山美奈, 足立直樹, 堀口 涼, 熊切葉子, 松下清文, 飯島健太, 青島拓也,
宮崎了輔, 高橋佳子, 津田正和

日本顕微鏡学会ソフトマテリアル分科会 2022年度 第2回講演会 2023年2月17～18日 東レ総
合研修センター（三島市） 高橋佳子

実験・実習技術研究会2022 2023年3月2～3日 広島大学（オンライン開催） 佐々木 健

技術職員コンソーシアムTAMARIBAシンポジウム 2023年3月15日 研究基盤協議会 技術職員
コンソーシアム（オンライン開催） 松下清文(シンポジスト), 佐々木 健, 外山美奈, 足立直樹, 熊
切葉子, 堀口 涼, 村松 歩, 宮崎了輔, 青島拓也, 高橋佳子

大学技術職員組織研究会(金沢会議) 総会・シンポジウム 2023年3月27日 大学技術職員組織
研究会（金沢市） 佐々木 健, 外山美奈, 足立直樹, 熊切葉子, 堀口 涼, 村松 歩, 宮崎了輔

【研修報告】

技術英語研修1（スピーキング）

技術部 機器利用支援グループ

（先進機器共用推進部 超微形態解析 配属）

高橋 佳子

研修：技術英語研修1（スピーキング）

日時：2022年5月17日 14時～16時50分

場所：オンライン（Zoom）

主催：大学連携研究設備ネットワーク

講師：梅村綾子先生（名古屋大学博物館 特任助教）

内容

『自分の業務・担当装置説明』をテーマに、ロールプレイで装置や実験の流れを英語で説明した。参加者は3名で、1人が技術員役、他2人が留学生役となり実際に業務で使用している資料などを使って内容を相手に伝える練習とそれに対する質問をし、ロールプレイ後に留学生役は技術員役から伝えられた内容を英語でまとめて説明した。（技術員の説明約5分、質疑応答5分程度、留学生役の要約各1分）

講習の流れ

0. 事前準備（説明資料、関連する専門用語リスト(和英併記)の提出）
1. 自己紹介
2. ミニ講座「疑問文をつくろう」
3. ロールプレイ
4. まとめ

【学外研修報告】

令和4年度 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修（情報コース）

教育研究支援グループ

（細胞分解解剖学講座 配属）

相羽 民人

用務：令和4年度 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修（情報コース）

出張期間：2022年10月13日～10月14日

場所：北陸先端科学技術大学院大学（石川県能美市旭台1-1）

参加人数：12名

研修内容

ネットワークに接続された機器を監視する用途で古くから利用されているプロトコルであるSNMPについて、基本的な知識習得を目指す

【研修1日目】

- ・ 受付
- ・ 開講式
- ・ 講義：ネットワーク監視プロトコルSNMPの基本動作
- ・ 実習：Net-SNMP、ネットワーク警告灯を使用したSNMPの動作確認

【研修2日目】

- ・ 講義：SNMPで取得したデータの可視化
- ・ 実習：MRTG、Zabbixによる可視化
- ・ 閉講式



ネットワーク管理プロトコルとしてはOSI管理モデルからIETF管理モデルへと移行したと。SNMPモデルはエージェントとマネージャで構成され、管理情報ベースMIBで遠隔から機器を監視・管理することを2日間に渡り学んだ。

研修参加に向けて独自に予習をして臨んだが、1日目は慣れないコマンド入力に大変苦労した。この2日間の研修はSNMPについての基本的な知識習得には有意義であった。

【代表者会議報告】

令和4年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係る技術職員代表者会議

技術部 教育研究支援グループ

(器官組織解剖学講座 配属)

佐々木 健

用務：令和4年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係る技術職員代表者会議

日時：令和4年12月27日（火）15:00 ～ 16:45

場所：分子科学研究所・研究棟201号室及びオンライン（Zoom）

出席者：現地11名（24機関中17機関出席）

会議の内容（報告事項および協議事項）

まずは、最新の名簿にしたがって、参加者（現地・オンライン）の自己紹介が行われ、その後、報告に移った。

報告事項として、下記のように令和4年度に実施された東海・北陸技術職員合同研修の実施報告（物理・科学コースおよび情報コース）が、各機関より行なわれた。

令和4年度合同研修実施報告

(1)物理・化学コース（担当：分子科学研究所）

- ・電子スピン共鳴測定の基礎
- ・ラマン分光法を用いた材質識別測定

開催日：令和4年9月8日（木）～9月9日（金）

開催方式：対面

参加人数：5名

(2)情報コース（担当：北陸先端大）

- ・ネットワーク監視プロトコルSNMP（Simple Network Management Protocol）

開催日：令和4年10月13日（木）～10月14日（金）

開催方式：対面

参加人数：12名

次に、令和5年度の東海・北陸技術職員合同研修の実施計画についても、下記のように各実施機関から紹介された。

令和5年度合同研修実施計画

(1)機械コース（担当：金沢大学）

- ・「溶接技術」、「3D-CAD」または「走査型電子顕微鏡」からテーマを選択し、実習を行う。

(2)複合領域コース（担当：名古屋大学）

- ・「これからの安全衛生管理について（仮称）」をテーマとした研修を行う。

続いて協議事項に移り、最初の議題は令和6年度以降の研修実施機関について話し合われた。未定であった令和9年度電気・電子コースに名古屋大学から開催の立候補があり、令和6～11年度までの担当機関が確定した。令和12年度以降については、令和8年度以降の代表者会議にて決定して行くことが望ましいとの意見があった。また、各機関における技術職員組織の現状と諸課題について課題について意見交換も行われた。そしてその他の議題として、東海・北陸技術職員合同研修の目的や実施時期についての話し合い、および本合同研修の案内を送付する機関の追加（国立立山青少年自然の家、国立能登青少年交流の家、国立若狭湾青少年自然の家）の確認が行われ、本代表者会議は終了した。

会議終了後に、分子科学研究所の極端紫外光研究施設（UVSOR、写真）を中心に施設見学を行った。



分子科学研究所の地下にある極端紫外光研究施設（UVSOR）

【学外研修報告】

日本顕微鏡学会 ソフトマテリアル分科会 2022年度 第2回講演会

技術部 機器利用支援グループ

(先進機器共用推進部 超微形態解析 配属)

高橋 佳子

出張報告詳細

用務：日本顕微鏡学会 ソフトマテリアル分科会 2022年度 第2回講演会

出張日時：2023年2月17日（金）～18日（土）

場所：東レ総合研修センター（静岡県三島市末広町21-9）

主催：日本顕微鏡学会 ソフトマテリアル分科会

参加者数：41名（うち顕微鏡学会会員28名、非会員10名、学生3名）

内容

①「ソフトマテリアルの顕微鏡 解析でAI をどう活用できるか」をテーマに、この分野の研究者・技術者による講演とAI初級実習。

- ・チュートリアル

- 「DeepLearningの基礎」「試料作製とアーティファクト」

- ・AIソフトメーカーからの紹介

- ・さまざまな分野のAI, Deep Learning

②わいわいクロストーク

ソフトマテリアルの試料作製や観察などにおける困りごとを相談



東レ総合研修センター

2022年度 技術職員活動実績

1. 取得資格および研修・講習

5月12日	自由研削といしの取替え試運転の業務特別教育
5月17日	英語研修
7月11日	臨床研究に関する講習会
7月20日	日立SEM基礎セミナー
7月24日	第32回 日本顕微鏡学会 電顕サマースクール
7月29日	琉球大学コアファシリティ構築支援プログラムシンポジウム
8月26日	静岡実験動物研究会 教育セミナー
9月6日	第1回若手WGセミナー
9月8日-9日	東海・北陸国立大学法人等技術職員合同研修（物理・化学コース）
9月24日	第20回 医学生物学電子顕微鏡シンポジウム
10月10日-14日	東海・北陸国立大学法人等技術職員合同研修（情報コース）
11月8日-9日	有機溶剤取扱作業主任者講習会，免許取得
11月16日-17日	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任講習会，免許取得
11月25日	令和4年度SEM（走査形電子顕微鏡）中級講習会
11月25日	ウサギ・モルモット上級講習会
12月2日	琉球大学コアファシリティ構築支援プログラムシンポジウム
12月12日-13日	普通第一種圧力容器取扱作業主任者講習会，免許取得
12月22日	日立 透過電子顕微鏡の試料前処理の基礎 ～バイオ編～
12月27日	東海北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係わる代表者会議
12月27日	研究基盤EXPO 研究基盤イノベーション分科会 イノベーション学会
1月19-20日	高エネルギー加速器研究機構技術職員シンポジウム
1月25日	先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

- 1月26日 第2回研究基盤シンポジウム
- 1月31日 化学物質管理者専門的講習
- 2月16日-17日 第33回生物学技術研究会
- 2月17日-18日 ソフトマテリアル分科会 2022 年度 第2回講演会
- 2月20日 高圧ガス製造事業者保安講習会
- 2月22日 リスクアセスメント講習会
- 2月27日 グリーン科学技術研究所共同利用機器セミナー
- 3月2日-3日 実験・実習技術研究会2022
- 3月8日 日立 第21回 Bio電顕セミナー,
- 3月9日 第15回佐賀大学総合分析実験センター
- 3月9日 第3回若手WGセミナー
- 3月17日 篤志解剖全国連合会 第46回団体・大学部会合同研修会
- 3月18日 第24回解剖技術研究・研修会

2. 学会・研究会等

【口頭発表・ポスター発表】

- 5月18日 BNラットにおけるi-GONAD法のエレクトロポレーション条件の検討,青島拓也、高林秀次、日本実験動物学会 (5月18日-20日)
- 9月15日 Generation of UV-hypersensitive mouse by gene-editing with i-GONAD. K Iijima, T Aoshima, H Niida, S Takabayashi、日本放射線影響学会第65回大会 (9月15日-17日)
- 10月13日 i-GONAD法を用いたゲノム編集ハムスターの作製、青島拓也、高林秀次、日本実験動物技術者協会総会 (10月13日-15日)
- 11月18日 献体実務のリスク管理、佐々木 健、第39回献体実務担当者研修会
- 11月19日 国内での技術職員集約化に関する話題提供、佐々木 健、解剖・組織技術研究会

- 12月12日 Design of Heme-binding proteins using coiled-coil-bridged de novo design structures. Kondo M, Kosugi T, Muraki N, Aono S, Koga R, Koga N, 第5回Ex CELLSシンポジウム
- 2月16日 組織学実習がオンラインから対面に戻った時に起こったこと、佐々木 健、相羽民人、佐藤康二、第34回 生物学技術研究会 (2月16日、17日)
- 2月16日 浜松医科大学技術部のこの1年(2022年度)の取り組み、佐々木 健、足立直樹、外山美奈、熊切葉子、間賀田泰寛、第34回 生物学技術研究会 (2月16日、17日)
- 3月1日 肺癌由来UBL3関連エクソソームのプロテオーム解析～早期肺癌術後の再発予測マーカー開発～、早川貴光、高梨裕典、高塚大輝、関原圭吾、川瀬晃和、村木隆太、徳永雄平、太田勲、河崎秀陽、華表友暁、椎谷紀彦、瀬藤光利、船井和仁、第28回浜松医科学シンポジウム
- 3月15日 技術職員の魅力とは、松下清文 (シンポジスト)、技術職員コンソーシアム T AMARIBAシンポジウム

【参加のみ】

- 5月14日 日本実験動物技術者協会東海北陸支部総会春季大会
- 5月27日 第48回国動協総会
- 6月20日 東海・北陸地区 国立大学・研究所環境安全衛生協議会
- 6月28日 大学環境安全協議会実務者連絡会研修会,
- 7月24日-25日 日本顕微鏡学会 第79回学術講演会
- 9月24日-25日 医学生物学電子顕微鏡技術学会 第38回学術講演会
- 10月28日 静岡実験動物研究会研究発表会
- 11月11日 東海・北陸地区 国立大学・研究所安全衛生協議会
- 12月1日 大学環境協議会 実務者連絡会
- 1月26日 第18回労働安全衛生に関する情報交換会
- 3月15日 技術職員コンソーシアム T AMARIBAシンポジウム
- 3月18日-20日 第128回日本解剖学会総会・全国学術集会
- 3月27日 大学技術職員組織研究会 (金沢会議) 総会・シンポジウム

3. 学内・社会・地域貢献事業

- 4月-3月 日本実験動物技術者協会東海北陸支部、役員
- 4月-3月 静岡実験動物研究会、幹事
- 4月-3月 雇入れ時特別教育、講師
- 4月-7月 静岡県内の教育機関・医療団体の解剖実習(見学)への教育支援(全14団体)、実習支援および講師
- 5月14日 第8回日本実験動物技術者協会、東海北陸・関西・九州3支部交流会、実行委員・座長
- 6月-3月 2022年度画像機器と画像解析の基礎技術セミナー(全8回)、企画・講師
- 6月24日 2022年度 大学院講義・実習、講師・実習インストラクター
- 7月30日 第15回基本的実験動物手技講習会、実行委員・司会・実技講師(7月30日、31日)
- 10月-03月 浜松医科大学におけるCSTセミナー(全13回、18日)
- 10月13日 第56回日本実験動物技術者協会 福祉奨励賞、審査委員(10月13日、14日)
- 10月27日 第2回若手WGセミナー、講師
- 10月28日 第49回静岡実験動物研究発表会 林榮一賞、審査委員
- 11月5日 令和4年度実験動物技術者2級試験対策実技講習会、実行委員・実技講師
- 12月-3月 先進ロボット手術開発学講座CST(全3回、6日)
- 12月7日 学術論文の査読(Journal of Vascular Research誌)
- 12月12日 看護学科授業(学内の廃棄物と廃水について)、講師
- 2月1日 安全衛生講演会(化学物質管理について)、企画・開催準備等
- 2月11日 第18回日本実験動物技術者協会技術交流会、実行委員・座長
- 3月2日 NEPA GENE主催 i-GONAD法実技講習会、実技講師
- 3月3日 静岡医療科学専門学校生へのTEM/SEM見学実習、講師
- 3月4日 学術論文の査読(Journal of Oleo Science誌)

4. 論文・著書等

Long-term stability of 24 synthetic cannabinoid metabolites spiked into whole blood and urine for up to 168 days, and the comparable study for the 6 metabolites in non-spiked real case specimens stored for 1-5 years.

Minakata K, Hasegawa K, Nozawa H, Yamagishi I, Miyoshi N, Suzuki M, Kitamoto T, Kondo M, Watanabe K, Suzuki O. Forensic Toxicol, 40, 289-301, 2022. (共著者)

Differences in Vasa Vasorum Distribution in Human Aortic Aneurysms and Atheromas. Sano M, Sasaki T, Baba S, Inuzuka K, Katahashi K, Kayama T, Yamanaka Y, Tsuyuki H, Endo Y, Sato K, Takeuchi H, Unno N. Angiology, 73, 546-556, 2022. (共著者)

Cathepsin K Deficiency Prevented Kidney Damage and Dysfunction in Response to 5/6 Nephrectomy Injury in Mice With or Without Chronic Stress.

Yue X, Piao L, Wang H, Huang Z, Meng X, Sasaki T, Inoue A, Nakamura K, Wan Y, Xu S, Shi GP, Kim W, Murohara T, Kuzuya M, Cheng XW, Hypertension, 79, 1713-1723, 2022. (共著者)

Chromatin-remodeling factor BAZ1A/ACF1 targets UV damage sites in an MLL1-dependent manner to facilitate nucleotide excision repair.

Koyauchi T, Niida H, Motegi A, Sakai S, Uchida C, Ohhata T, Iijima K, Yokoyama A, Suda T, Kitagawa M. Biochim Biophys Acta Mol Cell Res, 1869, 2022. (共著者)

講義実習棟改修時に発見された人骨標本への対応

佐々木 健、相羽民人、堂下ちひろ、天野桃薫、間賀田泰寛、佐藤康二. 生物学技術研究報告, 33, 16-17, 2022. (筆頭著者)

技術部年報のリニューアルから見てきた技術部像・技術職員像

佐々木 健、間賀田泰寛、佐藤康二. 生物学技術研究報告, 33, 16-17, 2022.(筆頭著者)

Successful i-GONAD in Mice at Early Zygote Stage through In Vivo Electroporation Three Min after Intraoviductal Instillation of CRISPR-Ribonucleoprotein.

Takabayashi S, Iijima K, Tsujimura M, Aoshima T, Takagi H, Aoto K, Sato M. Int J Mol Sci, 23, 10678, 2022. (共著者)

A subpopulation of agouti-related peptide neurons exciting corticotropin-releasing hormone axon terminals in median eminence led to hypothalamic-pituitary-adrenal axis activation in response to food restriction.

Yesmin R, Watanabe M, Sinha A S, Ishibashi M, Wang T and Fukuda A. Front Mol Neurosci, 15, 990803, 2022. (謝辞)

Role of Subcutaneous Adipose Tissues in the Pathophysiology of Secondary Lymphedema.

Sano M, Hirakawa S, Sasaki T, Inuzuka K, Katahashi K, Kayama T, Yamanaka Y, Tsuyuki H, Endo Y, Naruse E, Yokoyama Y, Sato K, Yamauchi K, Takeuchi H, Unno N. Lymph at Res Biol, 20,593-599, 2022. (共著者)

Young bone marrow transplantation prevents aging-related muscle atrophy in a senescence-accelerated mouse prone 10 model.

Inoue A, Piao L, Yue X, Huang Z, Hu L, Wu H, Meng X, Xu W, Yu C, Sasaki T, Itakura K, Umegaki H, Kuzuya M, Cheng XW. J Cachexia Sarcopenia Muscle, 13, 3078-3090, 2022. (共著者)

Quantification of olanzapine and its three metabolites by liquid chromatography tandem mass spectrometry in human body fluids obtained from four deceased, and confirmation of the reduction from olanzapine N-oxide to olanzapine in whole blood in vitro.

Nozawa H, Minakata K, Hasegawa K, Yamagishi I, Miyoshi N, Suzuki M, Kitamoto T, Kondo M, Watanabe K, Suzuki O. Forensic Toxicol, 41, 1-11, 2002. (共著者)

5. 科研費、補助金等獲得

人工設計タンパク質を多量体化することでヘム結合部位を創る。小杉貴洋、近藤未菜子、古賀理恵、古賀信康、村木則文、青野重利、自然科学研究機構生命創成探求センター (継続・分担・3年間)。

血管周囲脂肪細胞による血管壁炎症に着目した腹部大動脈瘤形成の機序解明と治療戦略。佐々木 健、佐野真規、財満信宏、文部科学省(継続・代表・4年間)。

腹部大動脈瘤予防法確立にむけた栄養学的基盤研究。財満信宏、田中宏樹、佐々木 健、文部科学省(継続・分担・5年間)。

エイコサペンタエン酸のTGF- β 1抑制作用に着目したリンパ浮腫薬物療法の開発。佐野真規、佐々木 健、文部科学省(新規・分担・3年間)。

Prime Editorを利用した次世代GONAD法の開発。飯島健太、浜松医科大学選抜研究プロジェクト(新規・代表・1年間)。

6. 賞典

医学教育等関係業務功労者文部科学大臣表彰 外山美奈

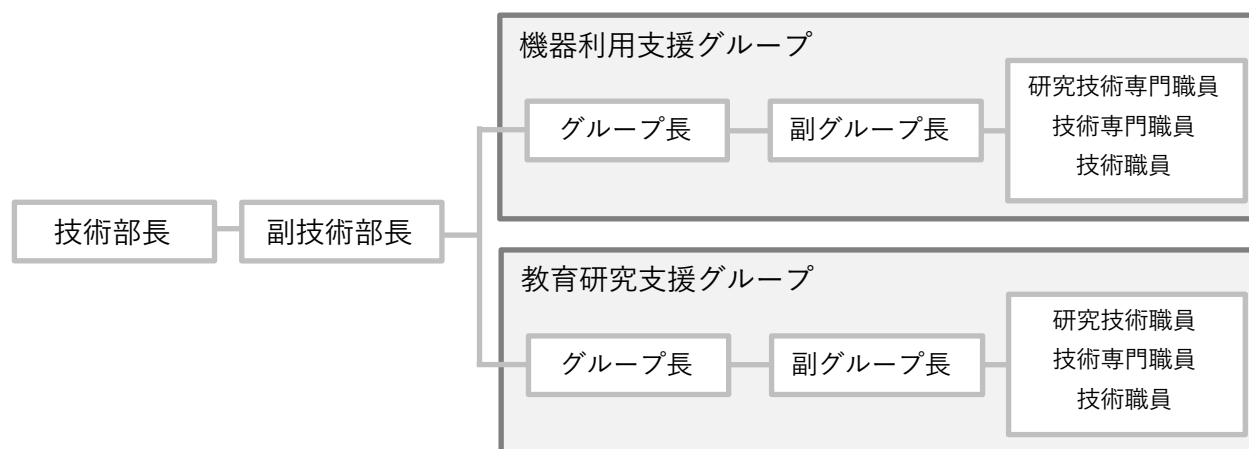
7. その他

外部委託事業の内製化による技術部予算の獲得

解剖実習室・献体処置室・CST室の仕様に関する情報収集(獨協医科大学、岡山大学の施設見学)

技術部組織・体制

組織図



役員名簿

技術部長(兼)	間賀田泰寛	教授	分子病態イメージング研究室
副技術部長(兼)	佐々木 健	技術専門員	教育研究支援グループ・器官組織解剖学講座
機器利用支援グループ			
グループ長	足立 直樹	技術専門職員	先進機器共用推進部
副グループ長	熊切 葉子	技術専門職員	先進機器共用推進部
教育研究支援グループ			
グループ長(兼)	佐々木 健	技術専門員	器官組織解剖学講座
副グループ長	外山 美奈	技術専門員	総合人間科学講座

担当係一覧

担当業務	リーダー	協力員
業務全般	佐々木	熊切
WEB管理	村松	北本綾、北本卓、近藤
部会	川島	相羽、徳永、稲葉、高橋、栗田
年報	佐々木	
学内研修	足立	
学内安全委員	松下	津田、宮城、青島、大森、稲葉
学外研修・出張・予算処理	外山	神谷、熊切
G長会議議事録	外山、熊切	
歓迎会	弘島	外山、熊切
勉強会	合田	足立
勉強会（その他）	佐々木	松下、津田、青島、堀口、飯島、池田、石井、青木

人事異動

退職

外山 美奈	技術専門員	教育研究支援グループ（総合人間科学講座）	2023年3月
-------	-------	----------------------	---------

採用

栗田 佑希	技術職員	機器利用支援グループ（先進機器共用推進部）	2022年4月
高橋 佳子	技術職員	機器利用支援グループ（先進機器共用推進部）	2022年4月
宮崎 了輔	技術職員	教育研究支援グループ（腫瘍病理学講座）	2022年10月

浜松医科大学技術部年報 2022

2024 年 9 月発行

発行者 浜松医科大学 技術部

編集 技術部年報製作委員会 2022

〒431-3192 静岡県浜松市中央区半田山 1-20-1

e-mail gijutsu@hama-med.ac.jp